

総合計

参加人数69名 有効回答58名

回答率 84%

問1あなたは参加者ですか。傍聴者ですか。

	1会議参加者	2傍聴者
問1	27	30

問2ご自身について、ご回答下さい

	1消費者	2食品等事業者	3マスコミ関係者	4地方公共団体職員	5その他
問2	28	16	4	0	9

問3消費者パネラーの発言に理解または共感できましたか。

	1理解または共感できた	2ややできた	3あまりできなかった	4できなかった
問3	18	26	9	4

理解または共感した点	<p>農薬は最小限にしてほしい。</p> <p>やっぱり、安心。安全な食料がみんなほしいんだと思った。</p> <p>生活者の本音が伝わった。</p> <p>既に消費者が指摘してきたことをおおむね発言していたので。</p> <p>コミュニケーションをしていこうという点。</p> <p>総合したコミュニケーションを。</p> <p>生産者1人1人が責任を持って農薬を適正に使用、記帳するという意識をもってほしいという発言のみ共感。</p> <p>農薬に対する意識改革。</p> <p>農薬に対してよりも、農業に関して地球規模で考えてほしい、と言った点。</p> <p>農業(業)問題は、農水省だけの問題ではない。食糧問題は、もっとトータルに考えるべきだ。(3名)</p> <p>(傍聴者)</p> <p>いつも考えてることなので。</p> <p>生産者と消費者のコミュニケーションが少ないという発言。</p> <p>実需者ニーズと消費者ニーズの違う点。</p> <p>ハザードについてトータルで議論してほしいという言葉に共感。生産者が責任を持って農薬を適正に使用、記帳してほしいという意見もよくまとめてくれた。消費者が選ぶことと生産者のギャップを変えられないのか。</p> <p>どのパネラーの意見も、実際に農産物を購入する時に感じる疑問ばかりです。ただ、全ての消費者がここまで意識が高いとは思いません。特に若者は。だからといって良いわけではなく、もっと食について考えてほしいと思います。</p> <p>私も一消費者として、情報の不足を感じている。HPで公開してるといっても、なかなかそのHPまでたどり着けないということもあり、より効果的な情報公開をお願いしたい(小売店での情報提供や市町村における対応など)。</p>
------------	---

問
3
消費者

理解または共感できなかった点

農業に対する知識が少ないパネラーが多い。もっと勉強している消費者を出してほしかった。

やむを得ないか…

消費者というと、今日も出ているいつもどこでも同じ顔、同じ発言をしている。何とか工夫できないか。

多様な消費者の意見を反映しているのかなと思われる点もあった。

大筋の建前論が多すぎる。

本当にみかけが悪いものを買うのが疑問。

消費者ニーズについて、虫食いのないものを好む消費者は多いと思う。値段が同じだと、やはり綺麗なものを選ぶので、少々安くしたらどうでしょう。

あるべき論を語っても生産者からみれば無理と思うことが多い。売れないもの、買ってくれないものは生産者としては作れないと思う。

もっと、生活者側の気持ちを考えた購入を広めるべきである。生産者への苦言の努力よりも消費者への苦言の努力をすべきである。

「自家用と販売用に農薬使用を区別している」という話は、確かにそういう人もいるかもしれないが、そうではなく、真面目に努力している生産者のことを無視していると思う。一般化しすぎではないか。

もっと、国民が安心できる、食料(農業)政策についての意見がほしかった。

(傍聴者)

攻め口調、一方的・ヒステリックな発言があった。

自分自身の考え及び意見が中心となる事。決めつけて話をする事。あえてハイレベルな議論を展開しようとする点。何を確認しようとしているのかわからない。

残留農薬及び農薬に対する知識が十分でない。

残留農薬の実態現状をあまり知っていないのではないかと考えた。人に聞いたことを言う発言が多かった。

非常にかたよりの意見が多い。また、農業に関する知識が少ないパネラーが多い。もう少し、生産者と深く関わりを持って、実際に業務として農業、生産者と直接関係がある人物をパネラーにしてほしい。

農家に理想を求めすぎている。

農薬に対する不安に対して解消するための提案、意見がなかった。

消費者パネラーはほんの一部の関心の高い消費者の意見ばかりを強調しているように感じられた。特に、ニーズに関しては、安全なものよりも、きれいで安い物を求める消費者の方が圧倒的に多いのではないか。

農産物に対する経済レベルが主眼となり、経済効率のみ追求すれば今後も同じ問題は起こると思います。

国際的な中での日本の作物づくり。

相乗毒性をどう評価すれば良いか勉強してみたい。

生産者パネラーの発言に理解または共感できましたか。

	1理解または共感できた	2ややできた	3あまりできなかった	4できなかった
問3	32	22	2	1
理解または共感した点	<p>生産者の本音がきけた。</p> <p>自家用と販売用とで農薬使用を区別している人もいと率直に話された点。</p> <p>本音で(多分)話されていたと思います。中に1人慣行栽培されてる人がいても良かったかと思いません。</p> <p>この場に参加した生産者は前向き。</p> <p>チャレンジ精神のある方々で好感がもてる。</p> <p>生産者の苦労はよく理解できる部分があるから。</p> <p>残留農薬について現代的。</p> <p>循環型農業をしている農家の意識。</p> <p>4人のうち3人まで、減農薬農家であったということは、暗黙のうちに、農薬は使いたくない人が集った、イコール農薬は悪と思っている人であったこと。</p> <p>農薬は消費者との信頼があれば減らせるという旨の発言。</p> <p>消費者に情報提供していこうという点。</p> <p>産直の農家は、顧客情報に敏感。直接情報が入ってくる強みだが、一般農家もこうあるべきだと思う。行政としてこれを支援できないものか。</p> <p>努力をしているんだなと思った。</p> <p>草生栽培している農家が、梅で違反した農家のために被害が大きくなり、検査所を作ったが費用がかかるとのこと。良い農家を守るために努力している様がよく分かった。</p> <p>ここへ来るような人は皆、素晴らしい人々ばかりでしょう。本当はもっと高齢者がやっているわけですから、問題解決はもっと難しいのです。農業についての考え方をもっと底辺から変えていかないと日本人が食物不足になることははっきりしています。今、農家の若い妻がスーパーで漬け物やお総菜を買って帰る時代です。自分の家の野菜をもっと食べることも考えないといけない時代になったのです。</p> <p>(傍聴者)</p> <p>発言に誠意が表れていた。</p> <p>実直に話していただいた。</p> <p>非常に素直で率直な意見が多かった。努力をしている姿がみられ、向上心が高いと思われた。</p> <p>積極的に記帳に取り組んでいるところ。</p> <p>出席者の方は意識が高い。</p> <p>4人全てが減農薬農家で努力していることがわかった。</p> <p>原さんの環境負荷に対応する作物づくり、農薬使用について</p> <p>生産者と消費者のコミュニケーションが少ないという発言。</p> <p>生産者と消費者との間に「距離」があると感じました。</p> <p>消費者との交流が必要と話されたこと。生産者がものを作る現場にいることを自覚する必要。消費者のことを知らなかったこと。</p> <p>意欲的で相互理解をめざしている。作った作物がゴミになっているのではないかという投げかけに共感できた。</p> <p>生産の現場がどうなのか、おぼろげだが判明した。</p> <p>農薬が必要な部分があるという実情がよく分かった。また、産直の重要性を改めて感じさせられた。</p> <p>産直青果物の残農検査をしているので、産地の意見にはあまり、ばらつきがないことが確認できたので良かった。</p>			

問3 生産者	理解または共感できなかった点	<p>やはり、選ばれた人という気がした。</p> <p>出席者の人選。難しいのでしょうか、慣行栽培農家の本音が聞けなかった。こういうところに出られない一般農家の意識改革はとて難しい。</p> <p>具体論が少ない、やっと質問に対する回答で少し。</p> <p>減農薬生産者を派遣せざるを得ない体質とでも申しましょうか…</p> <p>ここに参加していない方々の意識改革が必要。</p> <p>消費者は虫食いで曲がったキュウリでもよいのに、それをいやがっているように考えてること。</p> <p>もっと国の農業政策についての考えが聞きたかった。</p> <p>無登録農薬問題に対する反応が「ヒステリックな反応」という評価はどうか。ヒステリックな反応がおきるまで改善されなかった点を見逃している。BSEもしかし。あそこまで消費量が落ち込んで、始めて行政、生産者が変わったのではないか。</p> <p>(傍聴者)</p> <p>どなたも立派な方ばかりを選んだのだろうが、良い話ばかりで実態などが見えなかった。</p> <p>進んでいる生産者ばかりだったので、一般化はできないのではないか。</p> <p>減農薬に取り組んでいない、通常の農家の人の参加があればもっとリアルに現場の意識がわかったと思う。</p> <p>進んだ取り組みの事例が報告されていたが、これはほんの一例で従来通り効果重視で農薬を使用している生産者もまだ多くいると思う。これらの現状について、もう少し知りたかった。</p> <p>大地の会の方の発言に対して。有機農作物の方もパネラーに入ってくれば良かった。</p> <p>実需者ニーズを生産者に直接伝えていないのではないか。</p>
-----------	----------------	--

問4 今回の施策意見交換会に参加して、「残留農薬」についての考え方は変わりましたか。

	1少し安心した	2考え方は変わらなかった	3かえって不安になった	4その他
問4	27	20	1	8
	<p>その他記入欄</p> <p>農薬に対する各省の考えがわかった。</p> <p>残留農薬基準を守っていれば問題ないと考えている。</p> <p>昔から日本の生産者はよくやっているとと思っているので、その苦勞を知っているから感謝の念は変わりません。消費者が自分で野菜などを無農薬で作ってみれば、よく解ると思う。地球全体は無理でも、自分の住んでいる地域の全体をもっと良くする努力を消費者がやるべきである。自分が作った物は虫が食っていても曲がっていても半分腐っていても、勿体ないからすべて食べるものです。この気持ちが大事なのです。</p> <p>急性毒性はなくなったかも知れませんが、慢性毒性の危険についても心配です。</p> <p>特に、変わるほど新たな内容は無かった。消費者の行動実態は食品企業産業が作り出している。量販店の企画が基準。</p> <p>参加者は意識の高い生産者だと思うので、全体としてはまだまだ意識改革できていないと思う。</p> <p>消費者であると同時に近親者に農業生産者が非常に多く常にこの問題がお互いの理解が必要であるかを感じている。親近者の話として。</p> <p>1. 長野のりんご農家で親から経営をまかされ乳児もいるので最低の使用量で栽培したら消費者に販売不可能なりんごがほとんどで収入減の結果となり、翌年からは基準値以下の農薬使用で生産している。消費者も理解すべきである。</p> <p>2. 千葉でキュウリ、トマトのハウス農家。悪天候が続くとべと病等が発生するので、最低限の農薬は使わざるを得ない。曲がったキュウリ等は手伝いに行った夫が貰ってくる現実がある。消費者も形にとられないものも購入すべき。</p> <p>3. 自家用野菜を生ゴミ(コンポスターで熟した)を使ってナスを栽培したら、植えた時にオルトランを使ったのみで9月下旬の今も良いものが収穫できている。有機栽培のすすめ。</p> <p>日本農業が農薬削減・脱農薬に向かって行っていることの確信を得た。</p> <p>農水省のHPによれば、無登録農薬が農協を通して売られている様なので、農薬の勉強を農協を通してやるのでは信用できない。行政がもっとかかわった方が良いではありませんか。</p> <p>今後のこうした意見交換会の展開をもう少しみてみたい。また、こうした場の意見を行政がどう採り上げていけるのかには疑問を感じている。農水省ではこうしたリスクコミュニケーションに力をいれているのが分かるが、厚労省の対応には若干の不満を感じる。</p> <p>意見交換会を、どのように施策に反映させていくのか。その考え方で行政側から出れば良かったと思う。</p>			

問5 今回の施策意見交換会(第1回及び第2回)を開催したことをどのように評価しますか。

	1評価する	2やや評価する	3あまり評価しない	4評価しない
問5	39	15	3	1

追加問5 - 1 評価するものに をつけて下さい。

	1行政からの残留農業に関する説明	2第1回の意見交換	3第2回のパネルディスカッション
追加問5 - 1	18	18	43

追加問5 - 2 評価しないものに x をつけて下さい。

	1行政からの残留農業に関する説明	2第1回の意見交換	3第2回のパネルディスカッション
追加問5 - 2	9	5	2

問6 今後、施策意見交換会でより良い意見交換をするため、どのような点に留意して進めると効果的だと思いますか。

	1行政による説明を十分に行うこと	2消費者団体と行政の意見交換の時間を十分にとること	3生産者(テーマによっては事業者)の意見を十分に聞くこと	4生産者と消費者の代表によるパネルディスカッションを行うこと	5生産者と消費者団体との意見交換の時間を十分に取ること	6その他
問6	17	23	18	9	23	6
その他記入欄	<p>生産者、消費者、行政が同じ土壌でパネルディスカッションが必要。</p> <p>生産者、セールス側、食べる人々の3者の討論会をやるべきである。消費者代表をもっと正確に区分すべきである。</p> <p>生産者と消費者は両端で、その間に入る業者に関する話もありました。そこまで入れてしまうとごちゃごちゃすぎるかもしれませんが、消費者ニーズは業者にも理解して貰うべきではないでしょうか。</p> <p>農協と流通業者も参加した方が良い。消費者の質問したいことを前もってとっておくとピントはずれな質問は出ないと思う。</p> <p>有機農業、減農薬、慣行等、色々な作り方をしている生産者も含めての意見交換も行ってほしいと考えています。</p> <p>自分の住んでいる地域の生産者との意見交換。</p> <p>消費者団体代表に20代、30代など、これからの日本を担う世代を入れてほしい。</p> <p>消費者代表として、いつも同じメンバーがどこにでも出ています。もっと新しい考え方をしている人、地方(都内でも該当しますので念のため)に隠れている人を公募などをして発言させるべきです。</p> <p>パネルディスカッションの消費者代表は本当の意味の代表者ではない。セールス側の代表者である。個人としての消費者の意見をもっと集めなくてはいけない。</p> <p>今日と同じ顔ぶれなら意味無し。生産者も果樹だけではなく、野菜、米、穀物が必要。このような程度の会なら今後続けても流れを変えることにはならない。中央のところで行うレベルではない(町村レベルでもつ中身)。</p> <p>距離(心理的、実感的)を縮めることが大事。</p> <p>離れすぎた農と食の距離をせばめるための話し合い、具体的な施策がほしい。(学校の総合学習などで大分考えられてはいるが、商品に対する見方も変わるはず)</p> <p>フードチェーン全体の取り組みとして考えてほしい。</p> <p>質問と回答だけであって意見交換になっていない。(会の運営の技術的な困難さもあるかと思いますが。)</p> <p>もっと論点を整理し、キチンと問題を明確にできるような論者を選ばないと意味無し。</p> <p>参加者の質問、意見等を聞く時間を十分とってください。</p> <p>パネルディスカッションについては、2回を続けておこなってほしかった。</p> <p>消費者の意見を聞いている、というアリバイ的場になるような危惧を感じている。</p> <p>発言者が建前を言っているのでも心に訴えかけるものが少ない。もっと、毎日の生活の中からの発言を、自分の言葉で語るべきである。先入観からの発言ばかりである。</p> <p>近年、ゴミの不法投棄、産業廃棄物による土の重金属汚染が問題になってきています。それらに対する農産物への影響はどうなのでしょう。それらに対する農林水産省はじめ各省のとりのくみはどうなっているのでしょうか。</p> <p>化学物質の相乗的危機性(複合汚染)については、是非聞きたい。</p> <p>残留農薬問題にならんで、高齢化している日本の農業生産者は遺伝子組み換え農産物に対してどのように考えているのか。</p> <p>(傍聴者)</p> <p>流通業者も交えること。</p> <p>「生産者」「消費者」以外に「流通業者」を加えたりリスクコミュニケーションが必要ではないでしょうか。食品流通で最も「力」をもっているファクターは「JA」などの流通業者であり、流通業者が経済原理に基づく以上、残留農薬は今後も問題が残ると思います。</p> <p>事前に関いくつかテーマを定めて、数点に絞ってやる方がよいと思います。</p> <p>生産者側では、取り組みが進んでいない生産者に、何故取り組みが進んでいないのかなどのより現実を踏まえた議論を展開してほしい。</p> <p>偽装表示のこと。流通と消費者、生産者の風通しをよくするためにはどうするか。急性毒性は使用禁止されるようになったようだが、むしろ弱い農薬は量を多く使ってしまう実態があると聞いたことがあるが心配だ。</p> <p>行政からの説明は、もっと明確に行うこと。資料1に関する説明、解答は不確かな点が多すぎる。輸入農産物に関する意見交換会があると良いのでは(あるいは諸外国での実情)。</p>					